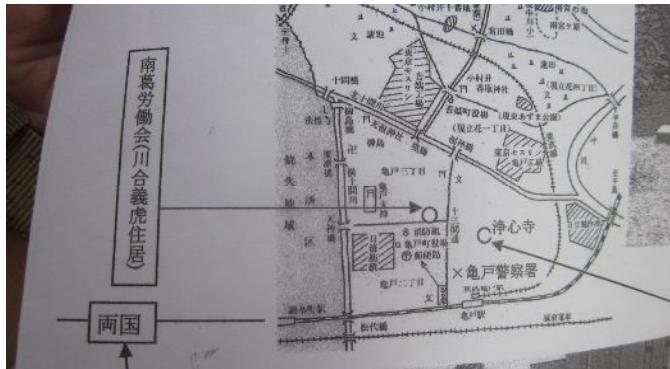


亀戸かめいとに関東大震災虐殺事件の現場を訪ねる

(『むくげ通信』259号、2013.7.28 17~18頁)

飛田雄一

「亀戸事件」は関東大震災時に平澤計七らが虐殺された事件だ。去る7月15日、南京大虐殺全国連絡会の会議ののち、亀戸地域で亀戸事件ほかいくつかの虐殺現場を訪ねるフィールドワークがあり参加した。



亀戸駅、浄心寺ほか

● 1

まず訪ねたのは虐殺された社会主義者の石碑が建てられている浄心寺だ。亀戸駅からより北東へ徒歩10分ほどのところにあるお寺で、石碑は1970年9月に建立されている。石碑には亀戸地域で労働運動を担っていた人々を天皇制警察・国家権力が軍に命じて虐殺したこと、惨殺の日時・場所・遺骸は今も不明であること、労働者の勝利を確信し、権力の蛮行に倒れた革命戦士が心血をそいで解放の旗をひるがえしたこの地に建碑することなどが刻まれている。碑の前面に殺された9名の名があり、裏面にはその後確認された被害者・中筋宇八24歳の名が1993年9月に追加されている。



浄心寺と亀戸事件犠牲者之碑



9名の名前が刻まれている

● 2



次に訪ねたのが中国人虐殺の現場だ。当時中国人のリーダーだった王希天が虐殺されたことはよく知られている。私には中国人が関東大震災で虐殺されたのは活動家の王希天らが、朝鮮人虐殺の巻き添えになつた程度の認識しかなかった。不覚だった。事実はまったく異なる。震災時に殺された中国人の数は「中華民国留日人民被害調査表」「日人惨殺温州僑胞調査表」などから650人をこえると言われている。巻き添えのレベルではない。亀戸周辺には当時、中国浙江省温州からの多くの労働者が生活しており、日本人労働者の労働を奪っていると反感をかっていたとのこと。二木ふみ子『関東大震災 中国人虐殺』(岩波ブックレット)によると亀戸周辺だけでも459名の中国人労働者が虐殺されている。主な現場は、江東区東大島文化センターのあるあたりだ。(大島8丁目が最大で死者334名) このセンターでは、今年9月1日(日)13:00、「関東大震災で虐殺された朝鮮人労働者を追悼する集い」が開催される。(9.8 神田韓国YMC Aに延期となりました。) (問い合わせ先: 080-6595-9360)

王希天が虐殺された現場は、亀戸駅より南東の逆井橋(さかさいばし)のたもとだ。王は中国人労働者の権利を擁護する僑日共済会の責任者で、山室軍平(救世軍)による身元保証書をもち中国人労働者の被害調査と救援にあたっていたが、9月12日野戦重砲兵第7連隊将校によって密殺されたのである。



さかさい橋

● 3

最後に訪ねたのが朝鮮人虐殺のひとつ、「旧四ツ木橋」だ。その近くに長く調査・追悼活動してきた「グループほうせんか・関東大震災時に虐殺された朝鮮人の遺骨を発掘し調査する会」が建立した石碑がある。学生センターでも上映した呉充功監督のドキュメンタリー「隠された爪痕」(1983)でもっとも印象的な場面として登場するところだ。撮影当時御存命であった曹仁承さんが、四ツ木橋のあったところで証言するのである。

「四つ木橋を渡って一日の晩は同胞 14 名でかたまつておった。そこへ消防団が 4 人来て、縄で俺たちをじゅずつなぎに結わえて言うのよ。『俺たちは行くけど縄を切ったら殺す』って。じつとしたら夜 8 時ごろ、向かいの荒川駅（現八広駅）のほうの土手が騒がしい。まさかそれが朝鮮人を殺しているのだとは思いもしなかった。／翌日の 5 時ごろ、また消防団が 4 人来て、寺島警察に行くために四ツ木橋を渡った。そこへ 3 人連れてこられて、その 3 人が普通の人に袋だたきにされて殺されているのを、私は横目にして橋を渡ったのよ。そのとき、俺の足にもトビが打ちこまれたのよ。橋は死体でいっぱいだった。土手にも、薪の山があるようにあちこち死体が積んであった。」（追悼する会編『風よ 鳳仙花の歌をはこべ』（1992 年）より）（詳しくは、一般社団法人ほうせんかのホームページ <http://www.maroon.dti.ne.jp/housenka/> を参照ください。）



絹田幸恵さんの写真を手に説明する西崎さんとほうせんか

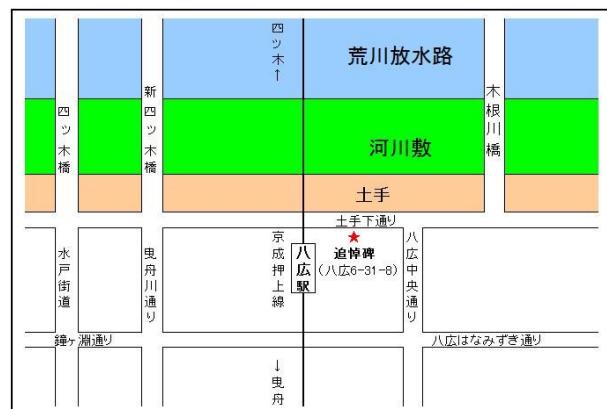
荒川の土手にたってグループほうせんかの西崎さんからお話をうかがった。この土手あたりから以西が震災で延焼したこと、多くの人々が西からどんどんと荒川方面に避難してきたこと、そのような中で朝鮮人に対する流言飛語が起きたことなどなど、現地で聞くと臨場感がある。この調査・追悼活動は、1975 年頃、絹田幸恵さんが荒川放水路（現荒川）開削工事の聞き書きをするなかで、お年寄りから旧四ツ木橋での朝鮮人虐殺事件の話を聞いたことからスタートしている。1982 年 7 月に「関東大震災時に虐殺された朝鮮人の遺骨を発掘し慰靈する会」準備会が結成され、同年 9 月初めての追悼式・試掘が行われた。試掘の様子は「隠された爪痕」にも記録されている。

今年も 9 月 7 日（土）14:30 に 90 周年の追悼式が荒川河川敷で開かれる。（問い合わせ先：TEL/FAX 03-3614-8372 携帯 090-6563-1923）

現場で学ぶことの意義は大きい。今回、急ぎ足であったが 3 つの現場を訪ね、多くのことを学んだ。案内・解説をしてくださった方々に感謝します。



関東大震災韓国・朝鮮人殉難者追悼之碑、その裏面



★京成押上線八広駅より徒歩1分(八広駅は各駅停車しか止りません)

(当時、四ツ木橋は八広中央通の延長線上にかけられていた。)



(八広駅につきました。ごくろうさまでした。)